

リリースノート

2020年09月14日

AtomOS 10.54

Sony a7SIII (ILCE-7SM3) HDMI RAW

NINJA V



重要事項 :

アップデートを行いますと、ProRes RAW コーデック用のアクティベートがお済でない場合、コードを入力してアクティベートを実行する必要があります。ファームウェアアップデート後、RAW ソース接続時や、ProRes RAW コーデックに設定する際、ユーザーインターフェースにアクティベートを行うためのポップアップ画面が表示され、アクティベートコードの入力が求められます。

アクティベートコードは Atomos のホームページ、 www.atomos.com/activation にアクセスし、画面の手順に従い、発行してください。

ご利用頂ける機能 :

ProRes RAW 収録 :

- 4.2K

- クロップ無しのメタモード 4264 x 2408 23.98p、25p、29.97p、50p、59.94p
- クロップ適用のメタモード 4240 x 2385 23.98p、25p、29.97p、50p、59.94p

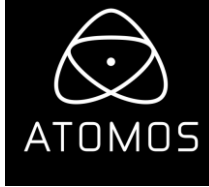
メタデータのクロップは RAW データを簡単に 16 : 9 のアスペクト比に変換し内部で収録する 4K UHD ファイルに近づけることができます。

- 12bit Log

- 16bit リニアから、12bit Log 変換。(視覚的なロスが生じない処理)

詳細については、下記のビデオを参照ください。

<https://www.atomosacademy.com/prores-raw-and-how-to-edit-the-format-in-scratch-part-2/>



ProRes、DNX 収録:

- 4KUHD (3840x2160p)収録 23.98p、25p、29.97p、50p、59.94p
- HD (1920x1080p)収録 23.98p、25p、29.97p、50p、59.94p
- HD インターレース(1920x1080i) 50i、59.94i
- カメラの映像出力 10bit 422

AtomOS モニタリング設定:

- Native – リニアから Slog3 もしくは、3D LUT を適用 – 既存の Slog3 LUT をご利用頂けます。
- Rec709 – RAW 入力映像を最大 6.7 ストップのダイナミックレンジを活用し SDR で表示します。
- HLG – RAW 入力映像を最大 10.5 ストップのダイナミックレンジを活用し HLG で表示します。
- PQ – RAW 入力映像を最大 10.5 ストップのダイナミックレンジを活用し、ハイライトの階調を求めるシーン用の PQ/HDR10 で表示します。

既知の制限

Sony a7sIII

- 2TB SSD に収録を行った大きなファイルは、Ninja V で正しく再生されない場合があります。
Ninja V の再生に関わる問題で、収録したファイルには問題は御座いません。
- ケーブルの接続不良で映像信号が途切れた際、Ninja V が自動的に収録を再開しないことがあります。
- ホワイトバランスと ISO 感度の調整は、現時点で Final Cut Pro X でご利用頂くことができません。
- カメラ及び Ninja V のファームウェアが今後アップデートします。

一般

- RAW から HDR へ HDMI 出力 - PQ / HDR10 出力変換はやや異なって表示されることがあります。

修正

- 10bit 422 映像を再生モードから収録表示に切り替えたとき、3D LUT が正しく表示されない問題を修正しました。
-